

佐賀県「食」でつながるネットワーク協議会のキックオフ交流会が10月7日に佐賀女子短期大学で開催されました。来年春からは佐賀女子短期大学の校舎に協議会の事務所や食の保管庫などが置かれ、被災地支援の拠点にもなる予定です。

交流会には食支援などを行っているCSOをはじめ行政・社会福祉協議会、企業などから多数参加されました。佐賀県の山口知事は挨拶の中で、つながることの大切さを強調され、佐賀県も会員として、枠組みに参加していることを報告されました。

私も20年近くNPOや市民活動を通して女性活動・活躍支援や被災地支援を行っていますが、活動が広がれば広がるほど資金不足や人手不足も含め、会議の場所や駐車場、物品の保管場所など、様々な問題に直面するジレンマに悩んできました。今回佐賀女子短期大学が、こうした活動の拠点となり、皆様とつながることができることを心から嬉しく思っています。

学校が拠点となって、官民学がスクラムを組み、食でつながる様々な活動や被災地支援を一元的に行うという、これまでに聞いたことのない取り組みが、この佐賀で始まるということ、また、このような意義深い活動を教育の現場で学生や生徒、子ども達に体験させることができるということ、地域に貢献するという教育機関として、活動の幅が広がるという意味でも、非常に意義深いと考えています。

学生や生徒たちが、協議会の皆さんの背中を見て活動に加わったり、全く新しい活動を立ち上げてくれたら、どんなに素晴らしいだろうとワクワクします。佐賀女子短期大学が、その新たな出会いと交流の場になって欲しいと願っています

